※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　工業科（生活デザイン系列）

教科	工業	科目	建築計画	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	建築計画（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築計画は、建築物を計画する上で検討すべき環境学、計画学、設備計画、建築史を学習する。ここで､学ぶ内容は実際に建築物を計画する者の立場からの内容であるだけではなく利用するものの立場に立って計画することも大切で、上記に挙げた内容だけではなく建築構造、建築施工、建築法規の内容も相互に関係するので、他の科目も理解した上で授業に臨むことが大切である。

2　学習の到達目標

・建築物の計画について住空間の快適性やエネルギーを踏まえて理解するとともに、関連する知識と技術を身に付けるようにする。
・建築物の計画に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
・安全で安心な建築物を計画する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築物の計画について住空間の快適性やエネルギーを踏まえて理解するとともに、関連する知識と技術を身に付けることができる。	建築物の計画に関する課題を発見し､技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	安全で安心な建築物を計画する力の向上をめざして自ら学び､建築の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	建築計画を学ぶにあたって・第1章建築と環境	「建築計画」を学ぶにあたって 第1章　建築と環境 1　建築と環境の概要 2　屋外環境と室内環境 3　換気と通風	a: 建築計画の歴史や地球環境と建築計画とのかかわりや建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、換気・通風のほか、通風方式や室内気候の数値、必要換気回数の計算方法などの知識や技術を習得することができる。 b: 建築計画の歴史や地球環境と建築計画とのかかわりや建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、換気・通風のほか、通風方式や室内気候の数値、必要換気回数の計算方法などについて思考・判断し、他者に表現できる能力を身につける。 c:建築計画の歴史や地球環境と建築計画とのかかわりや建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、換気・通風に関心をもち、通風方式や室内気候の数値、必要換気回数などの計算方法などの学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 ファイル	定期考査 ファイル	ノート ファイル 振り返り

※令和４年度以降入学生用

	第1章 建築と環境	第１章 4 伝熱と結露 5 日照と日射 6 採光と照明 7 色彩 8 音響	a: 室内の生活環境を良好に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、結露防止や熱貫流率の計算方法や日影図の作成方法、さらに色彩や音響をはじめ、色彩計画の進め方や騒音防止、最適残響時間の計算方法などの知識と技術を習得することができる。 b: 室内の生活環境を良好に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、熱貫流率などの計算方法や日影の作成方法、結露防止、さらに色彩や音響をはじめ、色彩計画の進め方や騒音防止、最適残響時間の計算方法などについてについて思考・判断し、他者に表現できる能力を身につける。 c: 室内の生活環境を良好に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明はじめ、色彩計画などについて主体的に学習しようとしている。	定期考査 ファイル	定期考査 ファイル	ノート ファイル 振り返り

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	第2章 住宅の計画・第3章 各種建築物の計画・第4章 都市と地	第２章 1 住宅の意義 2 住宅計画の進め方 3 全体計画 4 各部の計画 第３章 1 集合住宅の計画 2 事務所の計画 3 小学校の計画 第４章 1 都市と都市計画 2 都市計画制度と都市計画法 3 建築と地域の計画 4 地域の計画とまちづくり	a: 住宅・集合住宅などの役割・種類をはじめ、それらを構成する基本的な空間や性能、計画の進め方の知識や技術を習得することができる。 b: 住宅・集合住宅などの役割・種類をはじめ、それらを構成する基本的な空間や性能、計画の進め方を思考・判断し、他者に表現できる能力を身につける。 c: 住宅・集合住宅などの役割・種類をはじめ、それらを構成する基本的な空間や性能、計画の進め方に関心をもち、計画上の特質などの理解に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 ファイル	定期考査 ファイル	ノート ファイル 振り返り

※令和４年度以降入学生用

		第5章　建築設備の計画 1　建築設備の概要 2　給排水･衛生設備 3　空気調和･換気設備 4　電気設備 5　防災設備 6　搬送設備	a: 建築設備の目的・内容や設備計画を行うにあたっての基本事項、給排水・衛生設備、浄化槽、ガス設備などをはじめ、これらの計画の方法などの知識と技術を習得している。 b: 建築設備の目的・内容や設備計画を行うにあたっての基本事項、給排水・衛生設備、浄化槽、ガス設備などをはじめ、これらの計画の方法などについて思考・判断し、他者に表現できる能力を身につけている。 c:建築設備の目的･内容や設備計画を行うにあたっての基本事項、給排水･衛生設備、浄化槽、ガス設備などに関心をもち、これらの計画の方法などの理解に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 ファイル	定期考査 ファイル	ノート ファイル 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度